

「走」の積極参加をサポート

大会での優勝経験も

北九州ウッド・園田勝貴氏

北九州ウッド（北九位になったこともあり、池田一成社長）

で外材製品の入荷・出荷作業や在庫管理の責を任者を務める園田勝貴氏は、マラソンに取り組んでいる。2023年12月3日の福岡国際マラソンでは2時間29分20秒で完走し自己ベストを更新した。これまでフルマラソン10回、ハーフマラソン2

し腕を振るなど「毎日課題を決めて練習しており、練習仲間とともに走ることもある。」

園田氏は、以前は市民陸上クラブに所属していたが、池田社長が部長となり2年前に北九州ウッド陸上部を立ち上げてから、大会では同社の作業着と同じくネイビーカラーに白字で社名が入ったユニフォームを着て走っている。23年からは部費を設けて予算内で大会への参加費や遠征費、宿泊費を同社が負担しており、園田氏と相談しながら増額も検討している。

毎日は仕事を終えた6時前ごろから長くて20キロ、休日は40キロ程度とフルマラソンと同等の距離を走る場合もあり、いぶすき菜の花マラソン優勝時は鹿児島

園田氏の活躍はホームページで公開しており、いぶすき菜の花マラソン優勝時は鹿児島

同社のユニフォームを着た園田勝貴氏（左）と池田一成社長



話す。

池田社長は園田氏をアスリートらしく仕事での切り替えがうまいと評価し、幹部になることを期待している。遠方でも応援に行く場合も多く、リアルタイムで社員に大会の様子を連絡する。社内に

の取引先から祝福の声が寄せられた。池田社長は「取引先へのPRにもなり、イメージ向上や若手人材の募集に役立つ」と援する予定だ。